



ルーテル 藤が丘だより

ルター派キリスト教会 日本福音ルーテル藤が丘教会
〒 227-0043 横浜市青葉区藤が丘 2-31-21 牧師 佐藤和宏
tel 045-973-2729/ fax 045-439-7009
URL:<https://www.jelc-fujigaoka.org/> mailto: fujigaoka@jelc.or.jp
発行 月報編集委員会 発行日 2018年1月7日 No. 44



photo by M. Sugiura

御子は、見えない神の姿であり、
すべてのものが造られる前に生ま
れた方です。

コロサイの信徒への手紙 1章 15節



シリーズ説教

『神の時間』

牧師 佐藤和宏

ヨハネ2章1節～11節

先週の洗礼後の学びにおいて触れたのは、「ぶどう園の労働者のたとえ」でした。夜明けから働いた労働者は12時間もの間働き、最後の者は1時間働きました。ですから労働時間による評価をするならば、人は、一デナリオンをその行いに対する報い、報酬であると捉えるでしょう。

しかしこのたとえは、「最後の者にもあなたと同じように支払ってやりたいのだ」と言った主人の言葉によって、神の御心が示されているのだと思うのです。主人は、人の行いではなく人の存在に対して、出来る者にも出来ない者にも、同じように支払いたいと言っています。このたとえが示しているのは神の恵みについてであって、人の行いについてではないのです。

福音の日課は、「カナの婚礼」です。婚礼の席でイエスの母は、イエスに「ぶどう酒が足りなくなりました」と告げました。イエスはそれを聞くと、「婦

人よ、わたしとどんなかわりがあるのです」と答えています。人の理解でとらえるなら、それは完全に拒絶されたことのように受け取られることでしょう。実は、この「どんなかわりがあるのです」という表現は、ギリシャ語訳旧約聖書にいくつか例を見る定型句となっております。いずれの場面もそれぞれの文脈をよく読んでまいりませう、表面的な人間同士のやりとりで隠れて、その背後に神の御心があることがわかります。このことから、ここで

の御心を期待するように招く言葉である、そのように想像できるのです。「あなたの庭で過ごす一日は千日にまさる恵みです。(詩編84編11節)」

このほかにも、詩編にはいくつか神の時間について歌っているものがあります。私たちには私たちなりの時間感覚というものがある、私たちはそれによって物事を判断し、喜んだり絶望したりすることがあるでしょう。そして「もうおしまいだ」「間に合わない」と思うことがあるのですが、詩編の作者は、それぞれの信仰的経験から、自分たち人間の時間感覚をはるかに超えた神の時間というものがあると歌って

います。

「あなたとどんなかわりがあるのです」と言われた主イエスは、人間の時間によって判断するのではなく、神の時間に期待して待つようにと言われているにちがいないのです。人間の時間感覚からするなら一刻を争うように思われる危急のときにも神は共におられ、命と死に関わる危機的な状況にあっても、すべては主の御手のうちにあるからです。

この一年、私たちは宗教改革500年を覚え、学び、またお隣のカトリック教会と親しく交わってまいりました。宗教改革は、聖書に立ち帰るとい

う大切なことを思い起こさせました。キリスト教世界に大きく深い傷を残した出来事でもありました。1000年経っても、その後宗教改革が歴史となっても、その分裂は分裂のままだったからです。しかしそれから450年とい

に20年、共同研究を開始して50年の時を経て、義認の教理に関する共同宣言、宗教改革500年共同記念の礼拝と共同宣言が実現したのでした。さらにこれからも共に祈り、共に手を取り合い、未だ課題として残される事柄へ取り組み、そのような歩みがなされることでしょう。

宗教改革が起こった時点で、果たして誰がルーテル教会とカトリック教会とが共に礼拝をする時が来るなど想像できたでしょうか？ しかし神は、私たち人間の時間帯を高く超えた神の時間に最もふさわしい事柄を、ふさわしい時に実現されるのです。

それは私たちには、期待する形や時間とはちがうように見えるかもしれませんが、しかし、それが最も良い形であり、必要とされる時間なのだと思書は教えているのです。こうして私たちの思いを超えた神の御心は、私たち人間の時間感覚に基づいた『今』ではなく、神の時間に基づいた『その時』にすべてを恵みのうちに実現するので

す。この神の時間を待って「安心して生きよ」と、神は一年の終わりにあつて私たちを励ましておられるのです。

(降誕後主日)

■宗教改革500年共同記念の

「ゆたかな時間」 ○田 基

―五島、長崎ツアーに参加して―

わたしたちは11月21日から24日、ゆたかな時間を過ごしました。

美しい景色、味わいのある教会群、機知に富んだ案内をしてくれたガイドさん（地元のカトリック信徒）、共に学んだシンポジウム、一つになった合同礼拝、共に旅行し出会ったひとび



■五島・青砂ヶ浦教会

と、その中には35年ぶり出会った人、初めてなのにごこやかでつながっている人、人との出会い楽しむ事が出来、感謝です。

「長崎は今日も雨だった」この4日間どこかで、雨がふりました。しかし降っても小雨で、ほとんどが、移動のバスとか船の中でした。本格的な雨は、最終日、自由時間の30分だけ。

羽田で集合したのですが、わたしたちは飛行機で福岡空港経由福江空港に行くBグループ、長崎空港からバス・船で福江港に向かうAグループとは別々になりました。その後も、五島から長崎への船、帰りの飛行機、ホテルは一緒でしたが、それ以外は別々になりました。カトリック教会は、五島列島に巡礼団を組んでいるようで、多分それに準じて案内してくれたのだと思います。

五島列島は、5つの大きな島そのほか140の島で成り立っています。下(南)の3つの島が、五島市。上(北)2つの島が新上五島町。一番大きな島が福江島、2番目が上五島の中道島、それぞれ結構大きな島でした。バス会社・船も別々、ガイドさんもそれぞれのご自分の教会を案内してくれまし

た。

幾つの教会を訪れたのでしょうか、(合同礼拝の)会場となった浦上天主堂カトリック中町教会、ルーテル長崎教会を含め12教会、その他に外から見ただけの教会も、木の教会、レンガの教会、石の教会、コンクリートの教会、あまり多くの教会を見たので、どれがどれだか解からなくなりました。もう、2、3度行かなくてはと思います。

他に、鬼岳天文台、海から眺めたキリシタン洞窟、長崎平和公園、爆心地(原爆で壊れた浦上天主堂の一部があります)、西坂の日本二十六聖人殉教地、岡正治(元ルーテル長崎教会牧師)記念平和資料館、稲佐山展望台、外海(そとめ)の遠藤周作記念館、ド・ロ神父記念館、外海歴史民俗資料館。

11月23日、カトリック浦上教会の宗教改革500年共同記念「平和を実現する人は幸い」の、シンポジウムと合同記念礼拝の様子は、日本福音ルーテル教会のホームページに掲載されています。ツアーの旅行会社が、席を確保してくれて前の方のとても良い席でした。シンポジストを撮影するとき、わたしの頭が映っています。わかるでしょうか？



もう一つ、うれしい事がありました。4日間多くの人と出会いがあったのですが、特に菊池さんにお会いできたことです。彼女とは、希望教会(現・なごや希望教会)で教会学校で一緒に働きました。35年ぶりの再会です。東海教区からツアーに参加され、21日のホテルから一緒だったのですが、その日は気が付かず、翌朝食の時「太田さん」と声をかけて下さり、家内が「菊池さん」と答えました。彼女は話す事がいっぱいあると言っているので、その夜ホテルで話しましょうと一緒部屋に戻ったのですか、幾つかのコーテージのあるホテルで、話しながら部屋の

前まで来ましたらお隣の部屋でした。前の晩、暗いなか「こんばんは」と挨拶したのですが、お互いに気づかなかったのです。22日は同じBグループで、船もバスも一緒でしたが、なかなかお話ができず、結局、長崎のホテルで、食事しながらお話をしました。

あと一つは、ルーテル長崎教会を訪れたことです。私は、中学1年から2年の4月まで長崎にいました。父が長崎教会の牧師だったのです。



その後、家内と結婚した時、長崎教会を訪れ、岡先生にお会いしました。48年前とは、会堂も建て替わり、礼拝堂も2階になっていました。教会に入ろうとすると、丁度、栗原先生が帰ろうと出ていらつしゃいました。会堂に戻り、しばらく藤が丘教会のホームカミングデーの話をして帰られました。長崎教会のご婦人と、長崎教会の現状とわたしの長崎教会の思い出話をしました。

この他にも、多くの人たちと出会え

■ホームカミングデー

昨年11月26日(日)に初の試みとして「ホームカミングデー」を開催しました。教籍簿を整理し、音信不通になっていた方々の連絡先を求め、皆さんで祈りつつ準備を進めてまいりました。

当日の説教者は、栗原茂先生(元世田谷新町教会牧師)でした。懐かしい方々15人が、ご出席くださいました。またお友だちをお誘いください、一層賑やかになりました。ご欠席の方々からも、近況をお寄せいただき、祝会の席でご紹介させていた

たことを感謝します。

長崎空港で石田さんがピワゼリーを下さり、50年近く前も長崎で茂木ピワをいただいた事を思い出し、旧婚旅行のようだと一人おもしろく思っていました。(○子)



■ 35年ぶりの再会。菊池さんと。

だきました。そして何より嬉しいのは、その日以来、再び礼拝に来てくださる方がおられることです。

今年も11月に開催を予定しています。覚えてお祈りいただければ幸いです。5月6日には、前任の小副川幸孝牧師をお迎えする予定です。こちららも、どうぞお楽しみに。(佐藤)

■教会の動向



■12月の教会

2日は「みわ木管五重奏団」をお迎えし、クリスマスコンサートがありました。100人を超えるご来場をいただき、ありがとうございます。3日より待降節が始まりました。礼拝では聖餐式、こどもメッセージがありました。礼拝後、定例役員会が開かれました。6日、20日には聖研がありました。10日の礼拝後、信徒懇談会がありました。13日にはお仕事会がありました。17日の礼拝後女性会がありました。24日はクリスマス礼拝、祝会、その後イブ礼拝がありました。クリスマスには懐かしい方もお越しになり、本当に嬉しいときでした。礼拝に初めてのお越しは、○田○子さん(○田由○子さんのお母様)、○藤○奈さん、○野ル○子さん、○地○夫さん、○藤○香子さん・○香さん、○島○子さん、根○子さん、○沢○子さん、○田○子さん、○木○男さん・○子さん、○子さん、長谷○穂さん、○土さん、○川○子さん、渡○太さんでした。主の祝福をお祈りします。